

2025 年 9 月 30 日

三菱食品株式会社

三菱食品設立 100 周年記念 「三菱食品 これからの 100 年基金」創設に関するお知らせ

三菱食品株式会社（所在地：東京都文京区、代表取締役社長：京谷裕、以下「三菱食品」）は、100 周年を記念した施策の一環として、「三菱食品 これからの 100 年基金」（以下「本基金」）を 9 月 30 日に創設したことをお知らせします。初年度は、3 つの分野（①非営利団体に対する食のサプライチェーン構築支援、②子ども支援、③有事での復興支援）の助成に総額 1 億円を拠出します。

私たちはこれまで、“食”を通じて多くのステークホルダーの皆様とともに歩んできました。その皆様への深い“感謝”とともに、次の 100 年に向けて、持続可能な社会の実現に貢献するための新たな一歩を踏み出します。

本基金には、私たちの願いが込められています。

『どんな時代でも、多様な食を持続的に届けたい』

『食を通じて、地域やコミュニティが元気になるきっかけをつくりたい』

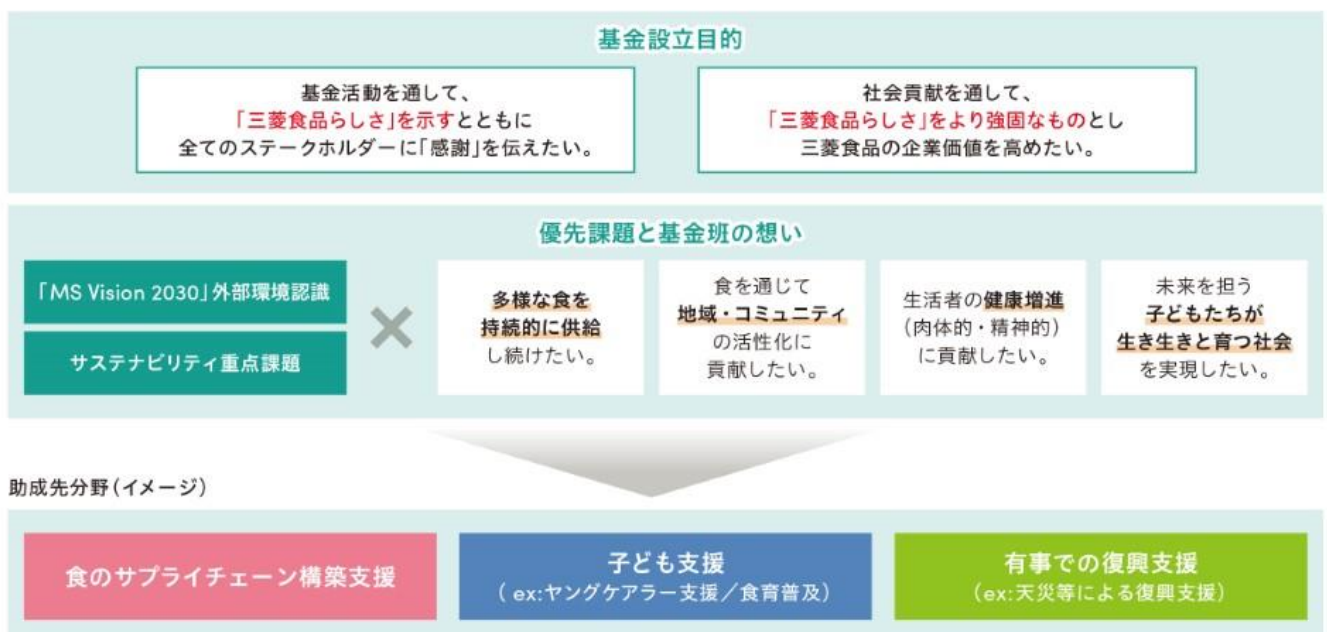
『食の力で、人々のこころとからだの健康を支えたい』

『そして、未来を担う子どもたちが、生き生きと育つ社会を実現したい』

食は、ただの栄養ではなく、人と人をつなぎ、社会を育てる力です。本基金は、その力を信じ、次の 100 年に向けて、さまざまな取り組みを支援してまいります。

■「三菱食品 これからの 100 年基金」概念図

基金設立目的と助成先分野



■支援内容

①：非営利団体に対する食のサプライチェーン構築支援

各地域で活動する非営利の「フードバンク」への助成を通じ、生活に困窮し、日々の「食」に困っている生活者に対して、少しでも多くの食を届けることのできる仕組み構築の一助を担います。公募による助成（公募型助成）を通じて、非営利のサプライチェーンにおける品質管理・賞味期限管理体制の構築を支援する他、サプライチェーンを支える人材の確保・育成支援も行う予定です。

②：子ども支援

いじめ、虐待、貧困、遺児・孤児、病気・障害、居場所支援、不登校、学習支援など、パブリックリソース財団でカテゴライズしている子どもに関する 8 つの社会課題に対し、社員投票を通じて意見を聴取。聴取した意見を基に、未来を担う子どもたちの支援を行う NPO 法人等の非営利団体に対する助成（セレクト型（団体選択型）助成）を行い、未来を担う子どもたちが生き生きと育つ社会の実現に貢献します。

③：有事での復興支援

災害発生等の有事の際に、各都道府県や地方自治体に対して三菱食品が直接支援を行います。食を通じて安心と希望を届ける取り組みを行います。

■『三菱食品 これからの 100 年プロジェクト』について

2011 年に菱食、明治屋商事、サンエス、フードサービスネットワークの経営統合によって誕生した三菱食品は、2025 年 3 月 13 日に三菱食品の母体である菱食の前身「北洋商会」の設立から数えて 100 周年を迎えました。

この記念すべき節目の年に、社員一丸となって未来を切り拓くための取り組みとして『これからの 100 年プロジェクト』を発足。「感謝」をメインテーマに、「One Team」「子育て支援」「地域創生」「復興支援」の 4 つのサブテーマを掲げ、社内外でさまざまな施策を展開しています。

